

会議録（要旨）

会議名	香春町立小中学校再編推進審議会（第5回）
開催日時	平成27年10月28日（水）13時30分～15時20分
開催場所	香春町町民センター コンベンション室
出席者	平部委員、本田委員、建部委員、岡委員、大野委員、三賀山委員、川浪委員、辻委員、小峠委員、堺委員、神崎委員、瀧川委員、岩谷委員、北原委員、藤田委員、柳生委員、矢野委員、森委員
欠席者	高瀬委員、牧委員、高尾委員、加々見委員、上村委員
事務局	林教育長、松下課長、池本課長補佐、脇山係長、松本係長、進
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 経過報告 3. 協議 <ol style="list-style-type: none"> ①先進地視察（颯田一貫校、嘉穂小学校）について（報告） ②中間答申（案）について <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地について ・通学方法について ③香春町小中一貫教育推進基本方針（案）について 4. その他

審議事項	審議内容
先進地視察（颯田一貫校、嘉穂小学校）について	<p>【事務局の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月22日（木）に行った颯田一貫校、嘉穂小学校の視察について報告。 <p>【委員の意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校はスクールバスを委託で運営しているが、運営費が1年間で4,500万円かかるということだった。国からの補助で運営ができているとのことだが、政局が変われば国の制度も変わると思う。香春町はそのへんの考えはどうしているのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金ではなく、地方交付税の中にスクールバスの運営費として入ってきているのではないかと思う。香春町もスクールバスを運営した場合は

審議事項	審議内容
先進地視察（颯田一貫校、嘉穂小学校）について	<p>そういった地方交付税がいくらか入ってくることになるので、それが財源になると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国がどうなるか分からないということだが、そこまでは想定できない。日本全国に影響が及ぶので、国もそういった交付税を切るということはなかなかできないと思う。
中間答申（案）について	<p>【事務局の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地及び通学方法についての2項目の中間答申（案）について内容説明。 <p>【委員の意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補地とする条件の、条件1で「小中学校が一体化した校舎で」とあるが、前回議論した小中一貫校を意味しているのか。そうであれば、中間答申よりも上位の概念として、小中一貫校の建設に取り組むんだという大前提が必要になるのではないかと思ったのだが。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で、建設候補地、通学方法、小中一貫教育の3つを中間答申として出していただきたいという話をした。今回は建設候補地と通学方法についての審議内容や付帯意見等、事務局でまとめたものを議案として審議していただいております、次回の審議会でも小中一貫教育についての案も示して協議していただきたいと考えている。今まで議論してきた、小中学校を一体化した施設を整備するというのと、小中一貫校を見据えたということを踏まえて、条件1として書かせていただいている。 <p>【委員の質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回資料として、香春町小中一貫教育推進基本方針（案）を示していただき、事務局としては小中一貫教育を提示するということがあったが、中間答申（案）の項目としては、この後に続くのではなく、これとプラス基本方針（案）を2セットで提出していくことを考えているのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的にはそのような考え方で、次回小中一貫教育について事務局案を提示したいと考えている。視察で颯田小中一貫校を見ていただいたので、視察に行かれた委員の意見も踏まえて、案を示していきたい。

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案）について</p>	<p>【委員の質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件1では、「小中が連携した取り組み」や「小中学校が一体化した校舎」といったように、連携か一体化か明確でないような表現で条件が書かれていた。小中一貫校ということを前提に案を出すのであれば、連携というよりもそういう表現に揃えておいてもよいのではないか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的には、教育委員会としても一体化が今回の目標なので、皆さんの賛同がいただけたら、条件1については一体化という形で修正させていただければと思っている。 <p>【委員の質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校のスクールバスの下校時刻が15時と16時になっているが、部活をしている生徒は保護者が迎えに行っているのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校は部活がないので聞けなかったが、教育委員会で明日視察に行く佐賀県の玄海みらい学園では、小学校低学年、小学校高学年と中学生、部活動生の3便を出していると聞いている。 <p>【委員の質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校のスクールバスの対応で、「乗り遅れた児童については、保護者の責任において送迎をしている」とあるが、保護者も共働きが多く、乗り遅れた児童がどうやって保護者に連絡しているのか。また、100%これで対応できているのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校については、ほぼ100%乗り遅れないとのこと。ちゃんと時間を守ってバスに乗っており、保護者が責任をもってバスに乗せている。乗れない場合は、送ってもらっているとのこと。 <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学方法については、子どもに対する配慮が付帯意見として書かれているが、確実に安全に学校に通学できるように準備や工夫をしておくことが必要といった意見を入れてはどうか。嘉穂小学校では、通学方法については別に通学対策の委員会を作って細かく決めているので、例えばそのような委員会で準備をして、子どもたちが教育上の不利益を得ない

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案）について</p>	<p>ような通学を確保できるようにすること、といったような文言を付帯意見の中に入れてはどうか。</p> <p>【委員の質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地の付帯意見の③で「新校舎建設中における勾金中学校生徒の教育環境面での配慮」とあるが、今の計画はどうなっているのか。今の中学校を壊して新しい校舎を建てるのか、今の校舎を残して別のところに校舎を建てるのか。 ・中学校3年生の立場からすると、今の校舎のほうが精神的に安定すると思うが。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設校舎を建てて取り壊しを行うことについて、できるだけ建設コストがかからないようにと考えている。できれば同時進行で行いたい、測量もできていないので、まだ検討中である。いずれにせよ、工事の音はかなり大きく、工事車両も入ってくるので、安全面での配慮という項目は変わらないと考えている。 ・まだ検討中だが、できるだけ仮校舎を建てない方向で行い、環境が変わらないようにしたいと思う。 ・新しい学校を建てる場合、2年～2年半程かかり、長い間子ども達に迷惑をかけることになる。教育委員会としても、子ども達の学習環境をどう保っていくかといくことを最低限の方法でやっていきたいと考えている。子ども達が校舎建設中も気にならなかったとなるような環境に、できるだけ近づけるように教育委員会も取り組んでいきたい。 <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事が入ると生徒は落ち着かなくなり、どのような配慮をしても騒音や機材の搬入等で必ず影響は出てくると考えている。それはどうしようもないことだと思う。極力そういうふうにならないようにとは思うが。 <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前勤めていた中学校も建て替えを行い、グラウンドに仮校舎を建設していた。先程も言われたようにどうしても騒音等の影響はあるが、それはしょうがないと思う。ただ、良かった点は仮校舎に空調がついており

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案）について</p>	<p>比較的しっかりしたものだだったので、生徒としては環境が変わり新鮮なものもあったのではないかと。引越しはとても大変で、マイナス面もあるがなんとかやっていけるのではないかと。思う。</p> <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂小学校のように別の敷地に建てる以外は、どこも隣接した所に建てているので、少しでも影響がないように配慮するくらいで、あとは仕方ないと思う。ただ、あまり高校入試等で影響があったという話は聞いていないので、校舎建設においてそういう面は配慮されているのではないかと。良かったとは言わないが、なんとかいけるのではないかと。思う。 <p>【委員の意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校の開校後、軌道に乗るまで3年～5年くらいかかると思うが、嘉穂小学校の校長先生も、統合した時はとても大変だったと言われていた。小中一貫校のメリット・デメリットは書かれているが、実際はどうか分からない。現場から見ると大変そうだと感じるので、そのへんを考慮して開校後5年間くらいは町負担で職員を増員して配置することを考えているのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の予定では、平成32年4月1日に小中一貫義務教育学校を開校することになっている。4小2中が1小1中に統合することになるので、一昨年从小小連携事業を行っており、去年は勾金中校区、今年香春中校区で小中一貫連携事業を行っている。まだ手がついていないのが4小学校の連携なので、開校までに4校の小学生と2校の中学生がスムーズに授業に入れるように、教育委員会としても連携事業を通してやっていきたい。また、平成28年4月から義務教育学校が制定されることに伴い、小中一貫校を実施した場合、開校前1年と開校後3年は国が過員の教員を派遣するという情報がある。そういったものを活用しながら、スムーズな移行に取り組んでいきたい。

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案）について</p>	<p>【委員の質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成32年4月に開校予定ということだが、3月に勾金中学校の卒業式を新しい校舎でしてあげることは難しいのか。可能であれば、新しい校舎で卒業式だけでもしてあげてはどうか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可能だと思う。学校が違うからできないとは言えないと思う。もし建設が間に合えばそれは可能だと思うので、教育委員会で議論させていただきたい。 <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先日2校を視察したが、穎田校は小中一貫、嘉穂小は5小の統合ということでそれまでが大変だったということだった。穎田校に関して開校までの経緯を見ると、飯塚市で小中一貫を行おうとなった時にまず穎田となったのは、1小1中だったことと、モデル校としての取り組みがあったからだが、それでも5年間かかっている。嘉穂小についても、5校が1つになるのは大変な経過があり、教育委員会で統合に携わっていた方がそのまま校長に赴任していた。どちらも準備が周到で、そうしないと成功しないのかなと思った。平成32年4月の開校となると、今年ももう終わるので、あと4年ちょっとでシステムを作っていかなければいけない。システムが整わないことには外側も建たないと思うので、来年度早々にも6校の先生たちが集まって準備委員会を立ち上げて、こんな校舎を建てようという話になっていくのではないかと思う。着工してから建設まで何年かかるか分からないが、そこが心配である。役場に今年から準備室ができたが、6小中学校の中に再編に向けての準備委員会を設置する計画があるのかどうか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4小2中の各校の中に準備委員会を設置することは考えていない。準備委員会に各学校の代表なり職員が出てきて、その中で議論をしてもらう。こういう校舎にしようというのは、文部科学省である程度の基準があり、その部分については町の希望を入れながらも、建物については建設の仕事になるので住宅水道課のほうに任せざるを得ない。教育課程については、筑豊教育事務所や県の教育委員会及び先進地の事例を参考にしながら、香春町に一番合った教育内容を教育委員会や教育現場の先生方を

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案）について</p>	<p>中心に考えていきたい。教育内容については専門委員会を設置して、専門的に考えていこうと考えている。先程言われたとおり、あと4年ちょっとしかないので、慌ただしい状況になってくると思う。何度も言っているが、平成9年の第2次行革からの積み上げで、それが一気にかぶさってきたということで、教育委員会としても精力的に取り組んでいっているのが実情である。ぜひ協力をお願いしたい。</p> <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進め方について今の教育委員会としての考え方を説明してもらったが、専門委員会の構成メンバーについては今後議論をすることになると思う。やはり現場を知っている方たちの意見をできるだけ入れていけるような方向で進めていただきたい。 <p>【委員の意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物に関しては、話し合うところが違うということだったが、現場で実際に使うのは先生方や生徒たちである。他の小中一貫校を見ると、理科室が2つあったり、特別教室が2つずつあったりした。先生方に聞いても、2つずつあったほうがいいという話を聞くが、そういった意見はこの場で言えば含んでもらえるのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先程の回答は、建物を建てる部署は教育委員会ではなく住宅水道課になるということであって、どのような設備にするのかといった議論はこの審議会の中で議論していく。 <p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申案について今までの意見を確認すると、建設候補地の条件1の部分の表現について、「連携」と「一体」という言葉を複数おり交ぜるかは、次回の文言によってはどちらも「一体」と書くかもしれないということで了解をいただきたい。結論としては、候補地について反対という意見はなかったので、文案通りで提案したいと思う。スクールバスについては、付帯意見の中にスクールバスの運行等について児童の教育や保護者の負担に配慮した形で運行できるような意見を集約して、そのような方法を取るということを入れていただきたい。

審議事項	審議内容
<p>小中一貫教育推進基本方針（案）について</p>	<p>【事務局の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回示した小中一貫教育推進基本方針（案）から変更した箇所について説明。 <p>【委員の質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進部会はこの審議会の専門部会の一つと位置づけるということだが、現時点でその他にどんな専門部会を考えているのか。 ・部会ということはワーキンググループのようなもので、具体的な内容を話し合っ、この審議会にあげることになるのかと思う。そうした時に、各学校長が部会で審議したものを、審議会にあげてまた審議するというのはどうなのかと思ったのだが。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会については、通学方法について、校則や風紀の関係、また校歌や校章などが必要だと考えている。想定されるものが色々あるが、細かいことを決めるのは専門部会がよいと思うので、そのような部会をつくって議論してもらい、最終的にはこの審議会で確認するという作業になると思う。 ・推進部会の委員と審議会の委員が同じ人というのは、考え方によってはおかしい部分もあるが、この推進部会は教育問題の専門的な部分を話し合うことになるので、学校長をはずすわけにはいかないと思い、このような構成になっている。他の小中一貫教育を進めている学校でも、学校長や教頭先生たちを入れた専門委員会をつくっているので、学校長にも入っていただきたい。 <p>【委員の質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穎田校を視察した際、義務教育学校にするのかという質問に対して、穎田校の校長がきっぱり小中一貫校のままでやっていると、教育長もそういうふうにはやっていると答えていた。小中一貫教育の改革が義務教育学校にはならないのだと思う。そのへんが気になっていて、小中一貫教育をやっている穎田校の方針と、義務教育学校の方針はどのへんが違うのか。穎田校は小中一貫教育で、小中学校を一緒にはしているが、小中を分けて教育しているところが見えたので、そのあたりのことをお聞きしたい。

審議事項	審議内容
<p>小中一貫教育推進基本方針（案）について</p>	<p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答の前に、19ページで筑豊教育事務所が専門部会に入るようになっているが、専門部会になると回数も増えてきて、事務所のメンバーも転勤で代わってしまうので、できたら必要に応じて入るようにしてもらいたい。どの専門部会にも入るのではなくて、事務所が全てわかっているわけではないので、中身の状況に応じて事務所も情報提供を積極的にさせてもらいたいと思う。 ・義務教育学校がどういうふうになるのか、まだ見えないところがある。一番大きく変わる可能性があるのは卒業式だと思う。穎田校ははっきり6年生で卒業式がある。義務教育学校でなければ、6年生で何らかの形で卒業を明確にするが、義務教育学校になると6年生でする必要がなくなってくるのではないかと思う。義務教育学校は学校教育法の中で制度化されるが、学校教育法施行規則などで今後、細かいところが出るのかなと思う。飯塚は穂波東中と平恒・楽市が一緒になり、目尾・幸袋が幸袋中と一緒にになるが、校長室は2つつくるとのこと。保護者対応で大変で最後は校長を出せという話がよくあるが、900人規模になるので、1人の校長では対応できないと。なので、そこには小学部の代表の人が必要だと、それは校長か副校長かわからないが。そういう意味で義務教育学校と小中一貫校は言葉としては一緒だが、中身が違ってくる。カリキュラムが香春で言えば3-4-2できちっと分かれるが、教科書とカリキュラムの違いも出てくるように思う。いずれにしても、今の質問には明確に答えられないが、校長先生1人の学校が義務教育学校だと思うので、1人で受け持つデメリットはあると思う。 <p>【委員の質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局に質問だが、中間答申（案）については、承認というところまで皆さんのご了解をいただいたが、③の基本方針（案）については、皆さんのご意見を伺うところまでか、承認までをお考えなのか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この基本方針（案）は教育委員会の方針になるので、確認していただいたらそれで結構だと思う。中間答申の中のもう1つ、小中一貫教育の判断材料としていただきたい。小中一貫教育については別途、中間答申（案）を作成して承認していただきたいと考えている。

審議事項	審議内容
<p>小中一貫教育推進 基本方針（案）に ついて</p>	<p>また、少し前に、文部科学省の義務教育学校の制度制定に関する説明会に参加した際にもらった資料を、委員の皆さんに郵送でお送りしたいと思う。</p>
<p>その他</p>	<p>【事務局の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会委員からの質問に対する回答について説明。 ・ 小中一貫教育のメリット・デメリットについて、追加資料で説明。 <p>【委員の質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の小中一貫校は、取り組み始めてまだ1～2年くらいしか経っていないが、どこの校長先生に聞いても、「難しい」、「厳しい」、「しないほうがいい」という意見ばかりを聞く。そこはほとんど1小1中の一貫校なので、香春のように4小学校と2中学校で進めている事例の資料なり視察なりをやっておく必要があると思う。嘉穂小は小学校のみの統合、穎田は1小1中で、幸袋も2小1中なので、4小2中が一緒になっていて何年か取り組みが進んでいるところを見ておくべきだと思う。そのところをお願いしたい。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先日の視察の際も委員の方から他の学校も見たい、うちのような複数の小中学校が一緒になった学校を見たいというような意見や、新しい取り組みをしている学校を見たいという意見があった。予算を伴うものだが、補正予算を要求して、今年度中にできる限りそういった先進校に皆さんと視察に行きたいと考えている。